

「まさか!」は起る。 想定外の時代

あなたは、
すぐに避難できますか？



梅雨や台風のシーズンが近づいてきました。近年、大きな災害が頻発し、南海トラフ地震の発生も懸念されています。しっかりと防災・減災へのとらえ方を整理し、個人で、家族で、地域で、対策などを考えておきましょう！

問い合わせ 総務課 ☎2119

教えて、防災くん。 「まさか」 のときは、 どうすればいいの？



防災くん

市民さん

総務課の職員。災害対策を担当しています。

市内在住の女性。5歳の息子がいます。

【市民さん】災害に備える上で大切なことは何ですか。

【防災くん】いざ災害が起こったときに、何が必要で、何をしなければいけないのかを、あらかじめしっかりと考えておくことが大切です。「自分たちの命は自分たちで守る」という意識で、日頃から避難場所や避難ルートを確認しておく必要があります。また、いざとなれば、一人一人が避難情報や気象情報などを「自らが取りに行く」ことが重要です。危ないと感じたときには、速やかに避難が始められるよう心がけておいてください。

【市民さん】避難場所はどこにありますか。

【防災くん】市が指定する各種避難場所は、『大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧』（市広報5月号と一緒に配布。市ホームページにも掲載）をご覧ください。また、避難場所には、市が開設し、職員が対応に当たる避難場所と、自治会などが開設し、地域で対応に当たる避難場所の2種類があります。それぞれ、開設時間や管理方法に違いがありますので、日頃から避難場所の位置や避難経路を確認しておいてください。

【市民さん】最も近くの避難場所に行けば大丈夫ですか？

【防災くん】特定の避難場所に行くことだけを考えると、いざ危険が迫ったときに対応できない場合があります。避難方法にはたくさんさんの選択肢がありますし、自然災害の種類によっても変える必要があります。

【市民さん】それはどんな場合ですか。
【防災くん】例えば、大雨により土砂災害の危険がある場合には、山際にある避難場所は危険ですので、土砂の影響を受けない広い土地や、建物に避難するという選択肢があります。河川の氾濫や津波のような災害では、平地の避難場所は危険なため、高台や高い建物に避難することが優先されます（各災害に対応した避難場所は『大竹市緊急避難場所・指定避難場所一覧』に記載しています）。

【市民さん】避難するときに何が必要ですか。

【防災くん】水、食糧、毛布、クッションなどが最低限必要です。袋やリュックなどに入れて、置く場所も決めておきましょう。大きな災害の場合、避難した場所に何も用意されていない可能性もあります。いざというとき困らないように、「自分の命は自分で守る」を実践しましょう。

【市民さん】避難が遅れたときはどうすればよいですか。

【防災くん】もし避難が遅れ、すでに家から出られないなど最悪の状況になった場合は、少しでも助かるための行動として、建物の2階や山の反対側などに移動する方法をとりましょう。

【市民さん】今、しっかり考えることが大事なのですね！

【防災くん】「自分がどういった避難をしなければならぬのか」は、災害の状況に合わせて、ご自身が最終的な判断を下すこととなりますので、日頃からしっかりと考えておくことが大切です。逃げ遅れないためにも、最も確実な避難は、皆さんが「災害が起きる前に早めの避難開始」が重要だ」という認識を強く持っていたらいいことだと考えています。

【ここがポイント】3つの大切なこと

- 1 避難場所や避難ルートを確認しておくこと
- 2 災害によって避難場所を変えること
- 3 災害が起きる前に避難を開始すること

市は、防災・減災対策をしっかりと進めていくとともに、市民の皆さんへの周知や啓発活動を続けていきます。



平成30年7月豪雨を教訓に 避難勧告等に関する ガイドラインを改定 5段階の「警戒レベル」で市が発令

問い合わせ 総務課 ☎2119

このたび、国が示す「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されました。どの地域がどれくらいの危険度になっているのかということを知りやすく示す方法で、災害発生の段階を「警戒レベル1から警戒レベル5」に区分し、避難するタイミングを伝えるものです。

※今月の市広報に折り込んでいますから配布されたチラシを確認してください。

「警戒レベル3」は 高齢者等避難開始の合図

今後は、気象庁がテレビなどで発表する防災情報で、警報が発令されるような気象状況となったとき、「警戒レベル3相当です」といった表現がされます。

この改定に基づき、大竹市でも避難に関する情報の伝達を行います。

例えば市内に大雨警報などが発令され、さらに降雨量が多くなり、土砂災害などの危険が伴う山すそや谷川沿いなど、危険性が高いと判断した地域に対しては「警戒レベル3避難準備（高齢者等避難開始）」を発令することになります。

危険度高まる「警戒レベル4」

また、河川の氾濫や土砂災害の発生が非常に高くなったときに、気象庁から「氾濫危険情報」や「土砂災害警戒情報」が発表された場合、その対象地域にいる全員に「警戒レベル4避難勧告または避難指示（緊急）」を発令していくこととなります。

ただし、市の全域が対象ではない場合もあります。

発表された警戒レベルや災害の内容をしっかりと確認し、皆さんの地域の状況を考えて上で、早めの避難行動を取るようしてください。

※県ホームページ「みんなの減災・はじめの一步」をご覧ください。

「減災はじめの一步察知」で検索

また、防災行政無線による放送は、雨天時や屋内では伝わりにくいことがあります。

大竹市防災情報メールへの登録や市ホームページ、防災テレフォンサービスを活用してください。

避難情報を自ら取得することが、避難を行う時の判断に役立ちます。積極的な情報取得を心がけてください。

※取得方法は8ページ参照

いざ、避難といったときに、あなたは、持ち出すべきものを準備していますか。「いやあ、準備しなくては」と思いつつ、何を持って行けばいいのだろう」と迷っているのかもしれない。

そこで、昨年、地域防災リーダーに認定された田口明義さん(三ツ石町)が、自宅準備している非常持ち出し袋を見せてもらいました。

4人家族の田口さんが非常持ち出しの品を入れている3つのリュックサックは、玄関、2階の寝室と居室に分散して置かれています。押し入れの奥にしまい込んでいたのでは、いざというときに間に合わないかもしれません。身近なところにあるこ

拝見 マイ非常持ち出し袋

地域防災リーダー
田口さんの場合

千葉に住んでいたころ東日本大震災を経験。防災意識の大切さを実感。



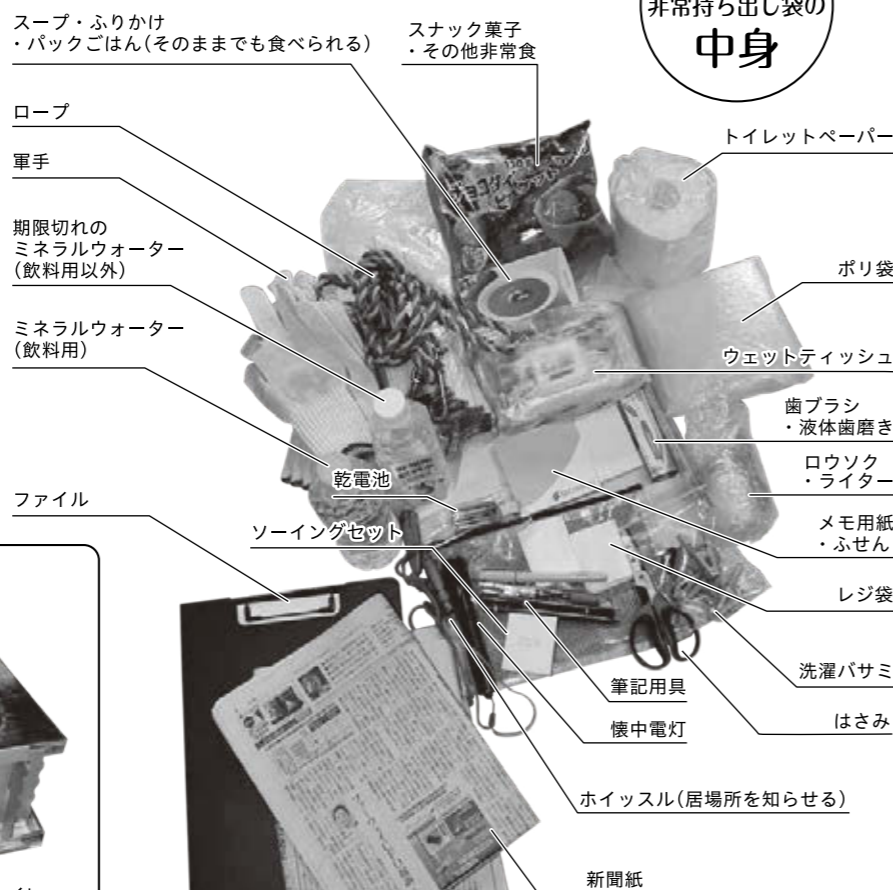
非常持ち出し用の3つのリュックサック。いつも身近に置いてある。

とが大切です。

田口さんが工夫されていたのは、防水加工が施されていないリュックは、ポリ袋で内側を覆うようにして、雨に濡れても中に染み込まないようにしていたことです。段ボールでできた簡易トイレは、表面にアルミ箔を貼ってコーティングするなどの手が加えられ、衛生面への気遣いがうかがえました。また、そのトイレを覆うテントもあります。水も飲料水のペットボトルだけでなく、消費期限の切れた水も、飲料水以外で使えるように入れていました。ほかにも手動で発電して聞けるラジオやライトなど、電源が無くて大丈夫な品々もあるそうです。

「災害に遭ったときに、自分がどう生き延びることができるのか、家族をどうすれば守れるか。また、女性の視点も考えて、持ち出し品を選びます」と田口さんは言います。

田口さんの 非常持ち出し袋の 中身



※これは一例です。処方薬や携帯電話の充電器など、あなたにとって必要なものを考えてみましょう。



千葉のNPO法人が作った、ポリ袋は米を入れてお湯で炊くことができます。



段ボールの簡易トイレ。アルミ箔のコーティングはお手製。

防災無線が聞こえない… そのときあなたはどうしますか!?

市内66カ所に設置した放送設備から防災情報などを放送しています。緊急時には災害情報や避難勧告など、重要な情報が放送されますが、天候や建物などの条件により聞こえにくい場合があります。

その場合は、放送内容を電話で聞くことができるサービスと、メールで受け取れるサービスがあります!



方法 その1 防災テレフォン サービスを利用する。【無料】

下記の番号に電話をおかけください。防災無線で放送した内容を聞くことができます。メールと併せて活用しましょう。

☎(無料) 0120-590-131

方法 その2 大竹市防災情報等 メールを受け取る

大竹市からの防災情報、気象情報、防犯その他お知らせ情報(任意)をメールで受け取れます。



※登録用 QRコード

- ① 右のQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。
- ② 数分以内に、登録用URLが記載されたメールが届きます。
- ③ 配信情報を選択して「次へ」を押します。
- ④ 入力内容を確認し、「登録」を押します。

⑤ 登録完了です。
※数分以内に、登録完了のお知らせメールが届きます。

※登録できない場合は、パソコンなどからのメール受信を拒否する「迷惑メール防止機能」が設定されている場合があります。「otake-city@raidan.ktaiwork.jp」からのメールを受信できるように設定してください。



QRコードを読み取るとスマホ版「川の防災情報」にアクセスできます。

国が管理する小瀬川で、氾濫の危険が高まったとき、その流域にいる人に、緊急速報メールが自動で発信されます。

メールを受信したら、雨の降り方や小瀬川の今の水位を「川の防災情報」で確認しましょう。

洪水情報が
緊急速報メールで発信

問い合わせ 国土交通省太田川河川事務所
082-221-2436

音で季節の 移り変わりを届ける 防災行政無線

市内66カ所に設置されている防災行政無線。夕方になると童謡や唱歌が流れてきます。これは、設備が正常に作動するかどうか、確認のために行っているものです。

ミュージックサイレンといわれる音楽は、季節によって時間も異なります。日没の早い10月から2月までは17時。日が長い3月から9月は18時です。音楽も季節を感じさせてくれる懐かしい曲がそろっています。

実は小瀬川の対岸、和木町の防災行政無線と同じ曲を流しています。違う曲同士が混ざって、不快な音にならないようにするためです。

月	曲名
1	たこのうた・冬の星座
2	早春賦
3	春よこい・春の小川
4	花・めだかのがっこう
5	鯉のぼり・夏は来ぬ
6	夏の思い出
7	浜辺の歌
8	海はひろいな
9	ちいさい秋見つけた
10	赤とんぼ・もみじ
11	たきび
12	冬景色・ジングルベル・お正月